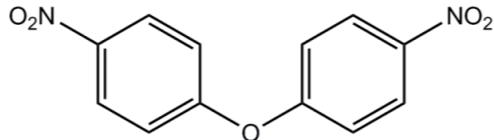
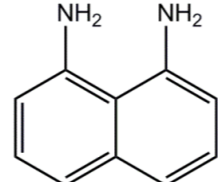

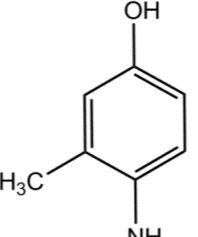
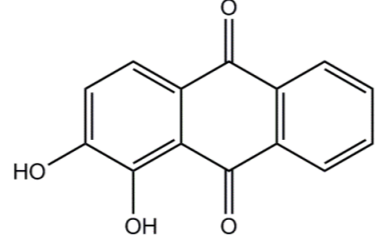


別紙2 変異原性が認められた既存化学物質に関する情報一覧

	化審法・安衛法 官報公示整理番号	CAS No.	名称	構造式等	常温の性状等(固体、液体、気体)	用途	変異原性試験結果の概要 ※1	出典
1	3-883	101-63-3	4,4'-ジニトロジフェニルエーテル		固体 融点：144℃ 沸点：- 蒸気圧：-	有機合成中間体	Ames試験最大比活性値：1.5×10 ⁴ Rev./mg	・化学工業日報社 ・厚生労働省
2	4-324	479-27-6	ナフタレン-1,8-ジイルジアミン		固体 融点：64℃ 沸点：205℃ 蒸気圧：-	染料中間体	Ames試験最大比活性値：1.5×10 ⁵ Rev./mg	・化学工業日報社 ・厚生労働省
3	1-546	7446-08-4	二酸化セレン(IV)	SeO ₂	固体 融点：340℃ 沸点：- 蒸気圧：-	酸化剤，触媒， 顔料，軽合金表面処理	Ames試験最大比活性値：2.7×10 ³ Rev./mg	・化学工業日報社 ・厚生労働省
4	3-223	455-14-1	4-(トリフルオロメチル)アニリン		液体 融点：8℃ 沸点：117℃/8kPa 蒸気圧：-	有機合成中間体	Ames試験最大比活性値：9.3×10 ² Rev./mg	・化学工業日報社 ・厚生労働省
5	3-707	2835-99-6	4-アミノ-3-メチルフェノール		固体 融点：177-179℃ 沸点：- 蒸気圧：-	有機合成中間体	Ames試験最大比活性値：2.4×10 ³ Rev./mg	・化学工業日報社 ・厚生労働省
6	4-704	72-48-0	1,2-ジヒドロキシ-9,10-アントラキノン		固体 融点：290℃ 沸点：430℃ 蒸気圧：-	媒染染料	Ames試験最大比活性値：4.3×10 ⁴ Rev./mg	・化学大辞典 ・厚生労働省

※1 各変異原性試験の判断基準

- 微生物を用いる変異原性試験（Ames試験）において強い変異原性が認められるとする比活性値は、概ね1,000 (revertants/mg) 以上
- ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験において強い染色体異常誘発性を示すと評価する濃度は、D₂₀値が概ね0.01 (mg/ml) 以下
- マウスリンフォーマTK試験では、いずれかの試験系で突然変異頻度が陰性対照の4倍、又は陰性対照より400×10⁻⁶を超えて増加している場合、強い陽性と判断
- in vivo 小核試験で陽性が出た場合には、強い陽性と判断